

〒650-0024

神戸市中央区海岸通29 神戸地方合同庁舎

TEL:078-331-5924 Email:hyogo28_hsatt_kinki@maff.go.jp



近畿農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」 （第8回）の選定証を授与しました！

近畿農政局兵庫県拠点は、近畿農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」（第8回）選定証授与式を開催し、ビジネス・イノベーション部門で選ばれた株式会社多可町地域商社RAKU（兵庫県 多可町）とコミュニティ・地産地消部門で選ばれたNPO法人棚田LOVERS（兵庫県 市川町）に対して、選定証の授与を行いました。



株式会社多可町地域商社RAKU



NPO 法人棚田 LOVERS

株式会社多可町地域商社 RAKU は、「地域に賑わいを創る」を理念に多可町の100%出資法人として設立されました。

生産者と密着しながら、ふるさと納税や特産品の開発・販路の拡大を行い、地域内外で販売金額を増加させました。

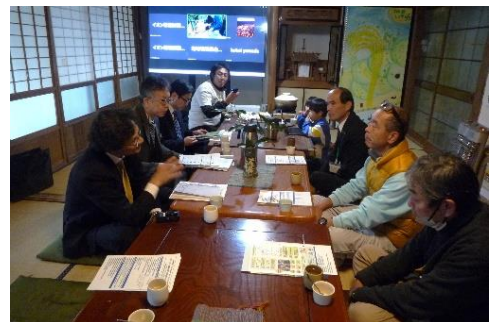
また、「働く」「住む」を簡易に体験できるプランやオーダーメイド型ツアーを開発し、外部人材の受入や雇用定住を実現するとともに、多可町ファンクラブの構築や都市圏でのイベントによる情報発信などにより、関係定住人口のさらなる獲得に取り組んでいます。

NPO 法人棚田 LOVERS は、後継者不足等により「あと5年で集落内の棚田はなくなる」との地域の危機感に共感し活動を開始しました。

米作りや自然観察等の体験活動により、参加する子どもたちは自然の中で多くのことを学びながら、逞しく成長しています。

棚田フェスや若者交流会等の活動を継続し、参加者や活動連携団体は毎年増加し、14名の若者が移住しました。

棚田の保全と棚田を守る将来世代の育成に向け、信念と覚悟を持って活動を継続しています。



意見交換の様子

選定証授与式後は、意見交換を行い、取組の経緯や、今後の活動の展開方法などのお話を伺いました。

近畿農政局選定地区一覧は

こちら ⇒ <https://www.maff.go.jp/kinki/press/keikaku/nousonshinkou/attach/pdf/241125-1.pdf>





美しく豊かな自然を次世代につなぐ ＜豊岡市 株式会社坪口農事未来研究所 黒葛 真吾さん＞

豊岡市で、コウノトリ育む農法に取り組み、ソーラーシェアリング(営農型太陽光発電)など先進的な技術も利用しながら、持続可能な農業を追求している株式会社坪口農事未来研究所の黒葛 真吾さんにお話を伺いました。

株式会社坪口農事未来研究所は、水稻をコウノトリ育む農法で栽培するほか、ニンジンやカボチャ、黒大豆、果樹や花卉等を栽培。水稻やニンジン等では有機JAS認証を取得しており、安心安全でかつ美味しい農産物の生産を目指しています。



就農したきっかけは？

大阪府堺市出身で、小学生のとき京都府南丹市美山町の山村留学に参加し様々な体験を積むなかで、自然に触れ感動した経験がきっかけとなり、将来は自然があるところで生活したいと思うようになりました。

高校卒業後は、京都府綾部市にある農業大学校で農業を学んだ後、種苗会社に就職し、野菜などの品種改良に取り組む。

全国の産地を巡る中で「コウノトリ育む農法」の存在を知り自身も携わりたいと考えていた折、友人を介し坪口農事未来研究所を知り、働きたい思いを直接伝え採用されました。

農業への思いやこだわりは？

自然との共生を信条にしています。自分自身が自然の中で農作物を作らせて貰っている思いがあるので、可能な限りそこに生きる生物の邪魔にならない農業を目指しています。

そして、自分が見ている豊岡市の豊かな自然の景色を次世代に残し、自分が自然に触れて感動したように、次の世代にも感動を伝えたいと思っています。



今後の展望は？

豊岡市での有機栽培の多くは、水稻が主体の経営となっているので、有機野菜の栽培を広めていき、有機野菜での新規就農者が増える環境づくりに貢献したいと思っています。

第2回「フラッグシップ輸出産地」認定！ 「和牛マスター輸出拡大コンソーシアム」「株式会社播磨灘」



農林水産省は、今後、一層の輸出拡大を図るため、輸出先国・地域のニーズや規制に対応した農林水産物を求められる量で継続的に輸出する産地を「フラッグシップ輸出産地」として認定しています。

第2回フラッグシップ輸出産地に、兵庫県内からは「和牛マスター輸出拡大コンソーシアム（畜産物・牛肉）」、「株式会社播磨灘（水産物・かき）」が認定されましたのでお知らせします。



令和6年度輸出に取り組む優良事業者表彰！ 農林水産大臣賞に「和牛マスター輸出拡大コンソーシアム」



【全国のブランド和牛を姫路発でプロモーション】

農林水産省は、農林水産物・食品の輸出の優良な取組を広く紹介することにより、輸出促進を図るため、輸出に取り組む事業者のうち、特に優れた事業者に対して「輸出に取り組む優良事業者表彰」を実施しています。

令和6年度の農林水産大臣賞を、「和牛マスター輸出拡大コンソーシアム（兵庫県姫路市）」が受賞しましたのでおしらせします。

▼取組内容



取組内容
▼（ダイジェスト）



環境保全に配慮した農業に取り組む農家さんのご紹介

神戸市西区 神戸まるっとふぁ～む 久保 浩俊さん —有機の仲間とグループを作り助け合おう—

取組の紹介

久保さんは農業高校へ進学されたお子さんの影響で農業に興味を持たれ、家庭菜園をしていました。その後農家になりたい思いが強まり、神戸市の「神戸ネクストファーマー制度」を利用し、神戸市の有機農業者のもとで有機農業スクールを受講、令和5年に神戸市西区で独立し営農を開始しました。

有機JAS認証はまだ取得していませんが、季節ごとの約80品目の野菜に有機質肥料を用い、無農薬・無化学肥料で生産しています。有機農業により環境にやさしい農業をお子さんに引き継ぎたいという思いから有機農業に取り組んでいます。



生産した農産物はCSAでの定期販売や、近隣のマルシェや自宅前で無人販売しています。研修生の仲間と「神戸アグリレーション」グループを結成し、助け合いながら飲食店への出荷、農業機械の共同購入・利用、子どもたちへの収穫体験などを行っています。

将来は面積を拡大し、農業高校を卒業したお子さんに継承したいと考えています。



簡単な経営概況
25a
季節の野菜
約80品目

CSA(地域支援型農業)とは、生産者と消費者が連携し、前払いによる農産物の契約を通じて相互に支え合う仕組みです。



@MARUTTO_FARM

キラリ☆
現場にて

自然に寄り添いながら、みんなと農業を体験しよう！

＜猪名川町 堂阪農園 堂阪 博文さん＞



猪名川町で、耕作放棄地を開拓し二条大麦を育てる堂阪農園の堂阪さんにお話を伺いました。

－ 農業との関わりは？ －

生家である堂阪農園は明治時代から農業を営んでおり、子供の頃から祖母の自然に寄り添う農業が当たり前のように身に付いたように思います。

常に身近に農業を感じていたこともあり、農業系の大学に進学し、卒業後は、農業高校の教師として各地に赴任しました。

また、地域農業の後継者育成の視点から、地域の多くの方々のご協力のもと、学生たちには、生産、商品企画、販売までのすべての作業に関わることを大事にするとともに、持続可能な農業に向けてコスト意識や収益など、儲かる農業を目指してほしいとの想いを抱いています。



二条大麦と堂阪博文さん

－ 農家へ転身、そのころは？ －

かつての教え子からは「農業をしたい」、恩師からは「耕作放棄地を何とかできないか」という相談を受けながら、農業を次世代につなぐために自分ができることは何かと思考の末、教員から農家に転身しました。

地域の農業者として、学校教育へのサポートを充実させることや農業の広がり求め、近隣高校・高等専修学校の学生、また生きづらさを感じている学生に対するアドバイスなど、農業・教育指導の立場で関わっています。

学生からは、農業の困難さを知ったことで、農家の方々や食への感謝を口々に話してくれるようになり、農業の教育力を実感しています。



和気あいあいとした高校での指導の様子

－ 自慢の農産物は？ －

祖母の行っていた土づくりを基本とし、二条大麦、黒枝豆、ブロッコリー、落花生などを農薬を使用せずに作っています。二条大麦は鉄鍋で焙煎し、クラフトコーラや麦茶に加工しています。クラフトコーラは炭酸割りで焙煎大麦を入れて飲むのがオススメです。



クラフトコーラと麦茶

－ 目指すところは？ －

農業への理解者を増やすため、スキマ時間で農業をする人を増やしていきたいですね。農業体験（オープンファーム）の場を作り、ここにくる価値があることを提供したいです。いずれは、消費者と農業者が「農と食」について話ができる場になればいいな、と考えています。



お知らせ & 募集

【除雪作業はご安全に】



「日本スタートアップ
大賞2025」募集

2月12日締切



「世界かんがい施設遺産」
申請募集

2月19日締切



「令和6年度山村と企業をつなぐ
フォーラム」2月7日開催

1月31日締切



「海業の推進に取り組む
地区」募集

2月21日締切



地方参事官ホットライン

農政に関するご相談、事業や制度へのご意見・ご質問などがございましたら、お気軽に地方参事官ホットラインまでお問い合わせ下さい。また、広報誌に対するご意見等もお待ちしています。

TEL : 078-331-5924 Email:hyogo28_hsatt_kinki@maff.go.jp